

JavaScriptのきほん

Webページを動かすしくみと歴史

ボタンを押すと動く、入力できる —
Webページに「動き」を与えるのがJavaScript。

1 どんな役わり？

Webページに動きと対話性をあたえる言語。
HTML=骨組み・CSS=見た目・JS=動き。

- ✓ クリックや入力に反応
- ✓ 内容を書きかえる
- ✓ サーバとデータ通信
- ✓ 計算・判定をする



2 どこで動く？

もともとはブラウザの中 (パソコンやスマホ側) で動く。
今はサーバ側でも動く。

- ✓ ブラウザが読んで実行
- ✓ Node.jsでサーバでも動く
- ✓ アプリやゲームにも



3 できること

小さな動きから大きなWebアプリまで、
はばひろく作れる。

- ✓ 入力チェック
- ✓ アニメーション
- ✓ 地図・チャット
- ✓ Webアプリ全般



4 歴史

1995年、ネットスケープのブレندان・アイクが
わずか約10日で作ったと言われる。

- ✓ 1995年に誕生
- ✓ 標準名はECMAScript
- ✓ 2015年に大きく進化
- ✓ 毎年アップデート

1995



JavaScript
が誕生!

2000年代



Webが広がり、
広く使われる

2015



新しい書き方で
大きく進化!

げんざい
現在



毎年アップデートで
さらに便利に!

HTML = 骨組み、CSS = 見た目、JS = 動き

